暮ラシカル道具展02

（1）趣旨

人は道具と共に発達し、文明を築いてきました。過去と現在とを結ぶ道具たちは、その存在もユニークで、見ているだけでも楽しくなります。今回の展示会では、昭和30年代に使用していたものを中心に展示しました。

その当時、"モノ"は、何度も直して使用していました。リサイクルではなく、壊れたら修理して使用した当時の人々のモノへの愛着。形から想像もつかないその使用方法、地域性、種類等を紹介しました。

また、この展示では学校の利用を意識して行い、学習係と学芸係が協力して学校との連携を積極的に行いました。

（2）会期　　2002（平成14）年1月16日（水）～2月17日（日）　9：00～16：00
　　開催日数28日間

（3）観覧料　　無料

（4）会場　　生活体験館（まゆの家）

（5）資料点数　　約60点

（6）関連行事

①紅花で絹を染める

（2002年1月26日 13：30～15：30／生活体験館付属施設「体験工房」／定員15名／参加費800円）

暮ラシカル道具展の関連イベントとして、体験工房の完成記念も兼ねて実施しました。紅花で美しい絹のハンカチを染めました。

②文化の森へ桶師がやってきた！

（2002年2月9日 10：30～11：30／生活体験館）

桶師の方に来ていただき、桶を直す実演を行いました。出演していただいた桶師の方から、実演に使用した道具類や桶屋の価格表など、貴重な資料をも寄贈いただきました。